

ふくしの森ステーションかじだより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションかじ（加治東地区行政センター内）
電話：070-7792-2423（開所日時/火～金曜日 ※祝日を除く 時間/9:15～16:15）

たすけあい・あいわネット再始動！

たすけあい・あいわネットは、加治東地区（岩沢・阿須）の住民を対象にした有償の助け合い活動です。約5年前から立ち上げに向けた話し合いが行われましたが、コロナ禍で中断。皆様のご協力もあり、去年の8月から話し合いが再始動いたしました。

あいわネットの活動内容

たすけあい・あいわネットでは、日常生活のちょっとした困りごとや、困っている人の生活を支援するための家事援助などを近隣の住民同士で助け合います。

活動内容としては、ゴミ出しや掃除、電球の交換など、軽作業から始める予定です。

2月2日には、たすけあい・あいわネットに協力していただける活動会員さんに向けた説明会を開催いたしました。当日は、21名の方にご参加いただき、活動に関する質問やご助言などたくさんいただきました！

活動のイメージ



たすけあい加治も応援！

説明会では、今年で活動5年目になる「たすけあい加治」の橋本代表（写真左）と、サポーターの梶田さん（写真右）が、たすけあい加治の活動をお話していただきました。

「たすけあい加治は、サポーターの方に支えられて活動が成り立っている。」と、橋本代表は熱く語っていただきました。

いずれは隣の地区同士で連携をしながら助け合えるようにと、最後に橋本代表から立ち上げに向けてのエールをいただきました！

活動会員を募集してます！

たすけあい・あいわネットで、自身の特技を活かしたり、日常のちょっとした隙間時間を活用してみませんか？お問い合わせは、ふくしの森ステーションかじまで☎



募集中!



“ふくしの森ステーションかじだより”は各自治会のご協力で回覧していただいています。

地域ふくし発見!

飯能市内の地域福祉に関する素敵な活動や取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

【今回のトピック】

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者や障がい者、こどもたちに向けたさまざまな活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ。」として取り組まれています。

社会福祉法において、「地域福祉の推進を図るため」と規定され、毎年、厚生労働大臣の告示によって、全国一斉に取り組まれます。

皆さまからお預かりした募金は飯能市内における福祉活動の推進のための財源として大切に活用させていただいています。

募金の使い道について

小中学生に向けた福祉教育の取り組みに

被災地でのボランティア活動に



今年度は、市内小中学校8校の福祉教育の取り組みに活用されています。

能登半島地震で被災した、石川県、富山県に全国の都道府県共同募金会から約3億3千万円が拠出されました。

身近な地域の居場所づくりに



今年度は、ふれあいいきいきサロン17団体、地域福祉推進組織7団体の活動に活用されています。

そのほかに、見守り活動の推進やひとり親家庭の支援、フードバンク事業、広報費などに活用されています。

皆さまからご協力いただいた募金は、約50%を飯能市内での地域福祉の推進のための活動に活用させていただくほか、残りの約50%は県内の活動に活用しています。

また、募金の3%は災害時のボランティア活動のための準備金として積み立てられており、もしも飯能市で大きな災害が起きた場合は、全国から応援が届く仕組みになっています。

赤い羽根共同募金について
(飯能市社会福祉協議会ホームページ)

